

第2次エコ・オフィスおごおり 実績報告書（平成24年度）

1. エコオフィスおごおりの概要と達成状況

(1)趣旨 現在、地球規模の環境破壊が問題となっている。特に、地球温暖化への対策は急務であり、日本は京都議定書の中で温室効果ガスの排出量を削減する国際的取り決めを締結した。
小郡市役所も一事業者、消費者として、環境保全に向けた取り組みを市民に率先して行う。

(2)目標 基準年度(平成22年度)比で
①温室効果ガスの総排出量(電気・燃料使用量)を5%削減する。
②水道使用量の毎年度の使用量をその前年度より下回るものとする。
③用紙の使用量の毎年度の使用量をその前年度より下回るものとする。
④環境負荷の少ない事務・事業を推進する。

(3)達成状況

温室効果ガスの総排出量

| | 排出量(CO ₂ -kg) | 達成状況 |
|----------------|--------------------------|--------------------|
| 基準年 (H22年度) | 2,950,215 | 全施設合計 達成 (-8.1%) |
| H24 | 2,709,840 | 市庁舎以外 達成 (-7.1%) |

水道使用量

| | 使用量(m ³) | 達成状況 |
|----------------|----------------------|--------------------|
| 前年度 (H23年度) | 103,326 | 全施設合計 未達成 (0.4%) |
| H24 | 103,688 | 市庁舎以外 未達成 (0.4%) |

未達成の主な要因: 文化会館での植木への散水による増加

用紙使用量

| | 使用量(枚) | 達成状況 |
|----------------|-----------|--------------------|
| 前年度 (H23年度) | 6,210,415 | 全施設合計 達成 (-6.0%) |
| H24 | 5,834,777 | 市庁舎以外 未達成 (5.9%) |

未達成の主な要因: 小・中学校の学校行事案内資料等の配布及び児童保護者への通知文書の増加。